



最優秀団体賞 受賞

茨城県

つくば国際大学東風小学校



7月12日月曜日、つくば国際大学東風小学校にて令和2年度日本漢字能力検定最優秀団体賞の表彰式を開催していただきました。表彰式の様子をご紹介します。

表彰式には5年生と6年生が直接参加し、1年生から4年生は教室でライブ映像を通して表彰の様子を見守りました。



特別教室に集合した上級生はとても緊張したご様子。先生にお聞きすると、「遠く京都から漢検の人が表彰に来る」と楽しみに待ってくださっていたそうです。

漢検協会理事長 山崎信夫より児童代表のお二人に賞状と楯をお渡ししました。「高校野球の甲子園出場校は参加校の4%ですが、漢検の最優秀団体賞は0.1%です。本当に素晴らしい。」とお伝えすると、児童の皆さんが一様に大きくなずいていました。その後、児童会長の宮脇さんよりお礼の言葉をいただきました。

表彰式が終了し、本橋校長先生と漢検協会理事長が特別教室を出た瞬間、教室に子どもたちの歓声が響きました。表彰式の間は、ずっと歓声を我慢してくださっていたのですね。

表彰式の後、このたびのご受賞について本橋校長先生と濱野先生にお話を伺いました。



■ 受賞を知った子どもたちの様子を教えてください。

漢検協会から賞状が届いてすぐに、校長から子どもたちに最優秀賞を受賞したと紹介したのですが、子どもたちから自然に拍手が沸き起こりました。漢検には児童全員で挑戦し、全員で合格しました。そのこと自体も「自分たちはすごいことを成し遂げた！」と達成感がありましたし、それが今回このように評価されたことで、より一層大きな喜びになりました。

■ 日頃ご指導されている先生方は、どのようにお感じになりましたか？

受賞を知らされた時の子どもたちの表情を見て、声を聞いて、本当に嬉しいな頑張ってた良かったなという気持ちがひしひしと伝わってきました。教える側としても心が温かく、熱くなり、これからも頑張ろうと改めて思いました。

■ 漢検のお取り組みについて教えてください。

つくば国際大学東風小学校では1年生から6年生まで全員で漢検を受検しています。4月当初より漢字の練習を始め、先取り学習にも取り組んでいますので、2学期のうちにほぼすべての漢字を習い終えて、冬休みからは漢検受検本番に向けたドリルやプリント学習を進めます。

1年生から3年生までは自分の学年の級で習熟度を測り、4年生以上は自分で、または保護者と相談しながらチャレンジする級を決めています。朝自習や国語の授業のほかに、本校で特別に行っている「ことばの時間」や「情報の時間」でも取り組んでいます。

1年生から6年生の全員で漢検に挑戦し、誰一人欠けることなく全員で合格するというのは、学校だけでは難しいところがあります。「合格したい！」という気持ちが保護者の方々にも広まって、ご家庭でもご協力いただきました。「合格を目指して頑張ろう」と声を掛け、学校で間違えた問題をおうちで繰り返し練習されるなど、子どもたちと保護者の方々力が合わせて挑戦してくれました。

このたびの受賞は、子どもたちと各家庭、そして学校が一体となって取り組んだ成果だと思えます。





最寄りの駅まで、スクールバスでお迎えに来ていただきました！

